

少し凝った洗面台

この洗面台は天袋、三面鏡部、カウンターから出来ています。

1. 天袋部

扉面と塗り壁面と面を合わせる仕上げです。しかも、扉は縦格子でピッチが揃う割り振りで扉を製作します。さらに、右側板も同様な格子ピッチで納めます。

まず、石膏ボード貼り完了後、シナのボックスを取り付けます。その際、扉厚30 + 調整代3mmと石膏ボード + 塗り代7mm が面となるように箱木口面を合わせて固定します。

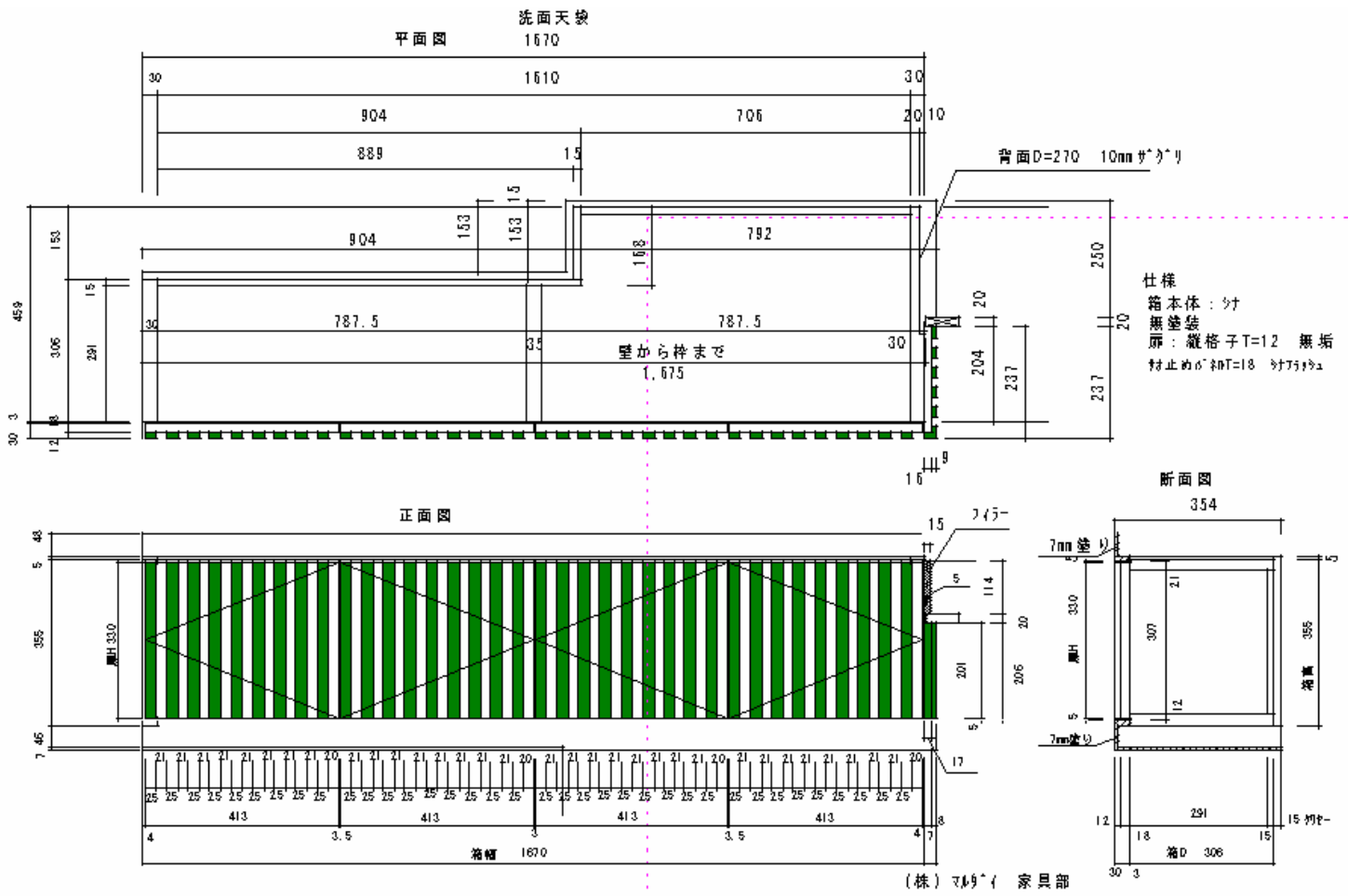


石膏ボード貼り完了後
採寸し、シナボックスを製作。



シナボックスをセット後、壁塗りを
行います。下塗り完了後、扉高の
採寸を行い、上塗り厚2mmを
考慮します。

そして、塗り厚誤差がありますので、
上、下クリアランスを5mm考慮し
ます。



順序が逆になりましたが、扉厚の設定で、板厚 t 18 のシナ突板 + 縦格子 t 12 = 総厚 30 です。
蝶番カップ 40 でこの扉厚が精一杯です。これ以上厚いと扉同士が干渉いたします。
扉：シナ突板、竿：バズウッド無垢材（当初、ポプラで塗装しましたが、色合いがシナと合わない。）
塗装：リボス クリヤー。



天袋全景浴室側より



天袋全景
トイレ側より

図面通りの縦格子



天袋全景
前面より

このように、塗り壁との取り合いを出来るだけ、きれいにやろうと思うならば、現場採寸、部材寸法に余裕を持たせ、多少のアジャストが効く様に致します。また、塗りの仕上がり具合で扉のクリアランスが大きく変わるので、注意を払いたい。



扉 t 30 = シナ突板 t 18 + バズウッド無垢材 t 12

塗装：リボス クリヤー

シナ突板とバズウッド無垢材との違和感ありません。

2. 三面鏡

外部、木口：シナ突板、内部：ポリ板 5414 です。ここで、ミラーの木口からの腐食を防ぐためにミラー下端の木口にシナ無垢 t 3 と貼ることとします。

ミラー t 5 を使用し、中央部はミラー幅が大きく重量があるため、蝶番を1つ多く上側に取り付けます。塗装：リボス クリヤーです。

箱寸法の幅は左の壁と右の箱との内法より 5 mm 小さくして、隙間をコーキングで処理することになりました。



ミラー全閉

ミラーサイド45°開き

ミラー全開

4. カウンター部

天板：アイカ ハイマックス S-06

バックガードH250については後貼り。

ボウル：アイカ HMB2002S06

扉、本体：シナ突板、リボス クリヤー塗装。

ボックス固定：床モルタル仕上げ、インロー固定（アンカー打ち込み）



カウンター部



カウンター
内部



洗面台全景



玄関ホールより正面洗面台